



2022 年 11 月 11 日

各 位

会社名：株式会社じもとホールディングス
(コード番号：7161 東証スタンダード)
代表者名：取締役社長 鈴木 隆
問合せ先：常務取締役総合企画部長 尾形 毅
(TEL. 022-722-0011)

会社名：株式会社きらやか銀行
代表者名：取締役頭取 川越 浩司
問合せ先：経営企画部長 西塚 英樹
(TEL. 023-631-0001)

(開示事項の経過報告)

新型コロナウイルス感染症特例金融機関等に対する資本参加に係る特例による
金融機能強化法に基づく国の資本参加の申請に向けた検討開始について

株式会社じもとホールディングス（取締役社長 鈴木 隆、以下「じもとホールディングス」といいます。）と連結子会社である株式会社きらやか銀行（取締役頭取 川越 浩司、以下「きらやか銀行」といいます。）は、2022 年 5 月 13 日付「新型コロナウイルス感染症特例金融機関等に対する資本参加に係る特例による金融機能強化法に基づく国の資本参加の申請に向けた検討開始について」を公表しております。公表いたしました内容の対応状況などについて、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 公表以降の対応状況

(1) 公的資金申請に向けた定款の一部変更

じもとホールディングスは、新型コロナウイルス感染症特例金融機関等に対する資本参加に係る特例による金融機能強化法に基づく国の資本参加（以下「公的資金」といいます。）の申請の検討を行うにあたり、公的資金に対する新たな種類の株式（E種優先株式）の発行を可能とするため、2022 年 5 月 13 日付「定款の一部変更に関するお知らせ」を公表いたしました。

この定款一部変更は、2022 年 6 月 23 日に開催いたしました第 10 期定時株主総会および普通株主様による種類株主総会に付議し、承認可決となりました。

(2) きらやか銀行の地元中小企業・コロナ支援体制の整備

じもとホールディングスときらやか銀行は、新型コロナウイルス感染症による影響がさらに長期化するなか、公的資金の申請の検討とあわせて、2022 年 9 月 2 日付「じもとグループ業績回復への取組み」を公表いたしました。

きらやか銀行は、同行のアイデンティティである中小企業支援により特化し、コロナ禍の影響を受ける地元中小企業にさらに貢献するため、営業戦略の見直しや本部組織再編、店舗網の見直しなど、抜本的改革を開始しております。

今後、この施策を進めることで早期の業績回復を達成してまいります。なお、10月末時点で下記の取組み実績となっています。

対応策	取組み実績（2022年10月末現在）
営業戦略の見直し	◆幅広い本業支援業務を整理、お客さまとの接点を強化する営業体制に変更 ◆本業支援部法人推進室を新設、重点地区である仙台地区に専任人員を配置（10月1日付で2名、以降、増員予定）
本部組織再編	◆コロナ支援、事業再生支援の専門部署「企業支援部」を新設、5名配置（10月1日） ・コロナ対策班が、ビジネスモデル変革等を重点支援する16先について、取引先の現場訪問、経営者ヒアリングを重ねてビジネスプラン策定を支援。 【支援事例】 業 種：地場スーパーマーケット 支 援：経営改善のため人員派遣、資金支援を継続実施。 旗艦店舗の販売スタイル変革（対面販売：マルシェ化）を支援。 ◆本業支援戦略部を再編。法人営業と個人営業に分離し、仙台銀行と組織体制や役割分担を統一（10月1日）
店舗網の見直し	◆5店舗の再編を公表。再編による創出人員を中小企業担当に再配置予定

(3) じもとホールディングスのコロナ支援策の検証体制

じもとホールディングスは、きらやか銀行が取組む地元中小企業へのコロナ支援状況について定期的に報告を受けております。

経営会議及び取締役会において、同行のコロナ支援策が取引先の業績改善や事業再生に有効に結びついているかを検証・確認し、必要な改善を指示するなど、子銀行に対する経営管理態勢をさらに強めております。

2. 公的資金の申請の検討状況

じもとホールディングスおよびきらやか銀行は、前回の開示以降、速やかな公的資金申請に向けて対応を進めてまいりました。

しかしながら、2022年6月23日に開催いたしました第10期定時株主総会および普通株主様による種類株主総会以降において、2022年9月2日付「2023年3月期第2四半期および通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正、役員報酬の減額に関するお知らせ」、および本日公表「2023年3月期第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」のとおり、海外金利上昇に伴う有価証券評価損拡大や与信費用増加などの影響により、今年度中間決算が赤字、通期決算も赤字見通しとなりました。

このように収益状況が当初見込みから大幅に変化したことを踏まえ、現在、じもとホールディングスときらやか銀行は、公的資金申請に向けた検討を継続する一方、まずは業績回復への取組みに注力

するとともに、コロナ支援体制の整備を進めております。

また、きらやか銀行は、コロナ禍で影響を受けた取引先への支援を進め、コロナ禍のさらなる長期化が取引先へ及ぼす影響についても、引き続き、取引先訪問等を通じて確認しております。

このような状況を踏まえ、申請の金額、資金の払込みの時期等につきましては、当社グループの業績回復を進めるとともに、コロナ禍と取引先への影響等を注視しながら、慎重に検討を継続してまいります。

3. 今後の見通し

今後、開示すべき事項が発生した場合及び開示すべき事項を決定した場合は、速やかに開示いたします。

以 上